



教育者・牧師・政治家の生涯

# 内ヶ崎作三郎

宮城県富谷市出身の内ヶ崎作三郎(1877.04.03～1947.02.04)は、教育者・(早稲田大学教授)、牧師(ユニテリアン教会・統一基督教会、自由基督教会)、政治家(衆議院議員、民政党幹事長)として知られ、また鈴木文治の友愛会を支えた人としても記憶されています。2017年は彼の生誕140年、没後70年。友愛労働歴史館はこれを記念し、企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」を開催いたします。

## 第1部

その生涯  
内ヶ崎作三郎



本郷教会の内ヶ崎作三郎ら(中段右2人目が内ヶ崎作三郎、左隣は海老名弾正。上段右より栗原基、吉野作造。前列中央に小山東助。【本郷教会創立50年】より)

### 明治10(1877)年～昭和22(1947)年

内ヶ崎作三郎は旧制二高(宮城県仙台)を卒業後、東京帝大に進み、海老名弾正の本郷教会で同郷の小山東助・栗原基・吉野作造らと活動を共にします。卒業後は早稲田大学で教鞭をとり、その後、宗教研究のため英国に留学。帰国後は教育者・牧師として活躍し、後に政治家に転身します。第1部では内ヶ崎作三郎の69年の生涯を、解説パネルなどで紹介いたします。

## 第2部

牧師  
内ヶ崎作三郎



自由基督教会の夕べ、昭和8年夏・青年会館(前列右から5人目が内ヶ崎作三郎、隣中央が永井柳太郎)

### ユニテリアン教会から統一基督教会・自由基督教会へ

明治44(1911)年に英国留学から帰国し、牧師に就任した内ヶ崎作三郎は、東京ユニテリアン教会を統一基督教会に改称。そして大正4(1915)年、新たに自由基督教会を設立します。なぜ内ヶ崎は統一基督教会を名乗り、また自由基督教会(写真)を設立したのでしょうか。第2部では「統一」「自由」を求めた牧師・内ヶ崎作三郎について、写真やパネルで紹介いたします。

## 第3部

政治家  
内ヶ崎作三郎



内ヶ崎作三郎、鈴木文治、安部磯雄ら。列外に永井柳太郎

### 「自由の拡張」「社会問題の解決」をめざす

大正13(1924)年、内ヶ崎は衆議院議員に初当選し、政界進出を果たします。なぜ彼は政界に進んだのでしょうか。そこには自由基督教の「自由の拡張」「社会問題の解決」、更には「理想社会の実現」という想いがありました。第3部では同じ自由基督教の政治家(永井柳太郎、星島二郎、安部磯雄、鈴木文治、河上丈太郎ら)に言及しつつ、政治家・内ヶ崎作三郎について解説パネルや写真で紹介いたします。